

H27年度 代表者部会 報告

1. 日 時 : 平成 27 年 10 月 24 日(土) 14:00～16:00
 2. 場 所 : 堺市西文化会館 セミナールーム
 3. 参加団 : 22 団体 33 名 (内訳別紙)
 4. 議 題 : (1) 合唱連盟へ望むこと PartⅢ
 - ①合唱連盟で主催してほしい新たな行事の提案・現在の行事への要望等
 - ②合唱活動の継承・拡大について～団員の高齢化対策・新入団員の獲得
合唱連盟としてできることはないか(2) 第 2 回以降の「ジョイント・コンサート」についてのご意見
(3) 一般連絡 (今年度の合唱講習会・コーラス交歓会のご案内)
-)
5. 議事進行 : 6 グループに分かれてグループ内で自由に意見交換を行い、各グループ毎に結果を発表していただく、という方法で進行。

6. 打合せ結果～主なる意見 (各グループの発表詳細については別紙参照)

6-1. 合唱連盟へ望むこと PartⅢ

- (1) 合唱連盟で主催してほしい新たな行事の提案・現在の行事への要望等
- (2) 合唱活動の継承・拡大について～団員の高齢化対策・新入団員の獲得
～ 上記(1)(2)に共通する提案が多数あり。

まず、発表の場を増やしては、という意見が複数グループより出された。いずれも新しい団員、若い世代へのコーラス継承が目的。例えば、小・中・高の合唱祭へ連盟から講師・モデル団を派遣して演奏の機会を設ける、新設中の堺市民会館で、客席を満席にするような演奏会をこれから企画する、大仙公園などの公共施設で演奏の場を設ける、など、合唱連盟の外部へ働きかけるイベントを考えてほしい、といった意見が一つ。もう一つは、指導の先生方たちでの演奏会を行う、合唱祭などでも自由曲とは別にテーマを決めて選曲する、あるいは、ジョイントコンサートのステージの中で、少なくとも一つのステージは純粋な合唱曲ではなく、一般の市民や若者におなじみの曲を選曲する、など、演奏会を通じて、いままで以上に会場のお客さんへ、また合唱をやってみようかどうかと境界線にいる人々へ、合唱に深く興味をもつていただくための工夫を加えてほしい、という意見が出された。

また、高齢化に関しては、高齢の方々でも年齢にとらわれずに元気に歌っている姿を披露する、いつも若い心をもって歌い続ける、という姿勢が、他の高齢化に悩んでいる団への励みになり、合唱活動をより活発化させる原動力になる、という趣旨の意見が複数グループより出された。

- (3)合唱連盟への要望 ～ 各グループより様々な意見があった。

①連盟ホームページに関して

団の紹介ページをもう少し充実してほしい。たとえば写真を埋め込むとか、団の紹介欄をもう少し大きくしてもらえると、ホームページをもたない合唱団にとっては、自分の団をよりPRできる手段になる。また、団の特色 (練習の難易度や、どのような曲の練習をしているか、自由な

集まりの活動なのか、定期演奏会を目標にスケジュールを組んでいるような合唱団なのか、など)が今のホームページではわからないので、合唱団を訪ねてみようと思う新しい方々に対しては不親切である。また、練習会場についても、住所だけの記載なのでわかりにくい。

②その他合唱連盟への要望等

- ・合唱祭の会場であるソフィアは、夏場にソフィアまで歩くのはきついという声もある。
- ・合唱祭での各団記載のアンケート、記載の負担が大きいという意見
- ・高校生への合唱祭などへの出演の機会を設けてほしい
- ・合唱祭と交歓会はもっと違いをもたせてもいいのでは
例えば、出演団を絞って演奏時間枠を拡大したり、オーケストラと共演するなどの変化
- ・練習会場の情報を提供してほしい
- ・堺市合唱連盟以外のイベントでも合唱団の出演する機会があれば、情報提供してほしい
- ・演奏会のマネジメントについて、特に初めて演奏会をするなどの団に対して連盟よりサポートをお願いしたい。こんな時どうしたらいい? と問い合わせできる窓口があると嬉しい。

6-2. 第2回以降の「ジョイント・コンサート」についてのご意見

どのグループからも、今後とも続けてほしい、という意見が出された。

ジョイントコンサートの実施に関する要望等として、以下のような意見が出された。

- ・少人数の団体が参加できるしくみも考えてほしい(単独の団では1ステージをもてない団)
- ・出演団をもう少し増やすのも、あってもよいのでは
- ・聴く立場からも、いろいろな団を一度に聴けるので是非続けてほしい
- ・合唱連盟外の人々へのアピールも考えた構成

6-3 一般連絡 (詳細略)

7. 総括

合唱連盟に対する要望・ご意見を多数いただいたので、理事会へ報告するとともに、要望にお応えできるものから順に実現に向け取り組んでいきます。

ジョイントコンサートについては、是非とも継続を、という皆様のご意見を受け、今後もさらに内容を充実させるべく継続して企画していきます。

以 上

H27代表者部会でのグループ発表内容

[Aグループ]

合唱連盟に望むことということで、市民合唱祭とコーラス交歓会について話題になりました。合唱祭とコーラス交歓会は日を変えて練習している、ということもありますし、コーラス交歓会は今後曲の提案をしていきたい、ということです。また団員が少ないということで参加したいけれどもできない、ということで、団員の確保をどうしていったらいいか、ということで、連盟のホームページから各団のホームページを作っておられるところはそれを確認していけばいい、またブログも活用すればいい、ということ。

団員の高齢化について、どこの団体も高齢化が進んでいるということで、ステージに立つのが難しくなってくる、ということもある。あらかじめ連盟に申告することで、一人でも多くの方ががんばれるように、ということ。また、高齢化、高齢化といいますけれども、年齢に関係なく、年齢がいつているからできない、難しいのではなく、108歳の先生も今でも元気にご指導なさっているというお話をきいて、年は関係ない、歌が好きであれば頑張っていける、ということもあります。で、若い世代は最近ではコーラスをしない、ということもありまして、それと発表会的な場をもつていただければ、合唱人口ももっと増えるのではないかと、という意見もありました。

ジョインとコンサートですが、第2回開催を決定しているということですが、開催日、開催場所の確保が難しいということで、参加希望団体も希望が少なかったということで、人数が少ない団体でも参加できるようなステージを、また第3回、第4回については時期が合えば参加したい、という団体もありました。また、合同合唱については良いという意見も多いが、練習日や指導の先生の問題で少し難しいかな、という意見が出ました。

[Bグループ]

連盟主催の行事について、まず合唱講習会の講師として清原先生に定期的にお願ひしたいと思ひます。それと各合唱団の先生方にお願ひなんです、先生方だけの演奏会をしてほしい、ということです。それから合唱祭の会場の件なんです、ソフィア堺、夏にあそこまで歩いていくのは大変らしいです。時期的な問題で難しいと思ひますが考慮に入れてほしいということです。それから、演奏したあとのコメントを書いています、これが本当に負担なんです。最後まで残っていただくためなど理由はあると思ひますが、すごく負担という声があるということもご配慮いただきたい。それから、テーマを決めていただいて、例えば「花」など、あるいは課題曲を5曲ぐらい決めていただいて、1曲はそれを歌う、もう1曲は各団の自由な曲を歌う、というのはどうですか、という意見もありました。それから、「1万人の第9」での例ですが、初めてカンロ飴を配っています。1万人配っています。こういうのも、お客様を呼ぶ、団員が残る、手段として、スポンサーとして何かあれば、ということで考えていただけたら、と思ひます。それから、堺で有名なゲスト、ト

一クだけでいいんですけれども、もしそういう方がおられるならお願いしたい、ということ
です。

それから団員募集についてですけれども、連盟のホームページをもうちょっと内容を明確
に充実してほしいということです。

それから連盟にお願いしたいのは、府立の高校生、の合唱団の方たちと一緒に歌いたいと
いうことです。いっしょに出たらどうですか、ということ。

それから練習会場の使用について、連盟より、ここはいかがですか、とご紹介いただいた
らもっとありがたいな、ということ。まあ難しいとは思いますが。

それからジョイントコンサートのことですが、出演団体が4団体というのは決まっている
のですか？できたらもう少し増やしてもいいんじゃないかと思えます。

それと打ち上げ会場が、梅文化会館だと打ち上げが難しいそうですね。そうであれば、打
ち上げ会場としてするんだったら、会場をもう少し考えてほしいということです。

[Cグループ]

合唱連盟への要望ということですが、今、合唱祭とコーラス交歓会をやっていますが、時
期を変えたり、交歓会に特色をもたせて、ということをやっておられますが、だんだん合
唱祭と交歓会が出る団体数も似て来ているし、出演時間も同じような形になっているので、
もう少し何か変化をとるか特徴のあるものにできないかと。例えば、出演団は少なく
なるが、1つの団の出演時間を10分に長くするとか、オーケストラといっしょに歌うとか
そういう企画を考えられないか、ということがでております。

それと、どこの団も、高齢化、団員の減少ということがあるのですけれども、今、合唱祭、
コーラス交歓会、合唱講習会等ありますけれど、合唱をアピールするには、連盟だけでな
く、各団によっては外部、ほかの場面で主張されて、例えば国民音楽祭？ですか、そうい
ったところへ出て、団員を獲得するとか、いうところへ実際につながっていくという合唱
団がありまして、そういったところを連盟として助けて、そういった情報を提供してい
ただけないとか、そういった意見が出ています。それと団員の獲得は、ホームページの充
実、ということがいわれています。それから、合唱連盟としては毎年同じような形で行事
その他を続けていくわけですが、何年かに一度、連盟としての企画、というものを考えら
れないか。例えば、今、市民会館の建て直しをしていますね。いつ出来上がるかは存じま
せんが、そのこけら落としとしての企画を考える、ということができないでしょうか。

それから、ジョイントコンサートについては、聴くほうとしてもいろいろな団体が一度に
聴けるので、是非続けてほしい、という意見が出されました。

[Dグループ]

はじめに合唱の継承について、です。ある合唱団の例として、いつも練習に呼んできてく
れるが、その1回で帰ってしまわれる、という方が多い、ということがあります。まあ練

習に来てくれるだけでもありがたい、という声もあるのですが。そこで、ロスがどうしても出てしまう。お名前とかもお聞きするのですが、歌えない、ということで帰ってしまわれる。はじめての方でも楽しく歌えるような団もあるかも知れない中で、そのような人を失うのは損失。連盟のホームページの各団紹介の中で、団の活動内容をもう少しわかりやすく紹介できていれば、はじめての方でもすぐに入れる団、本格的に歌い込みたい人向きの団など、団の特徴を見て、団をえらぶことができる。

団の高齢化はどの団でもいわれている。

堺市民会館は平成30年秋以降といわれているが、客席が2000席あるそうです。ぜひ2000席を満席にできるようなイベントを今から考えていったらどうか。そこへ合唱連盟みんなで出る、元気にステージに立つ、ということで人を増やしていく、というアイデア。何か目標をもって、きっかけをつくる、ということが大事ではないかと思います。

あとコーラス交歓会、合唱祭とありますが、これは対外的に合唱連盟が訴える大きな場だと思います。去年、コーラス交歓会でミュージカルをやったと思いますが、今年はバリバリの合唱曲ということで、まあ講習会との兼ね合いもあるのでしょうか。ジョイントコンサートも今回4団体出るということですが、あまりバリバリの曲ばかり集めると、聴いてくれる方がどう思うか。私たちは合唱をしているとその曲は楽しいと思っているのですが、境界線、線をまたごうかな、やめとこうかな、という方が確かにいらっしゃいますので、その方たちに一歩前へ進んでいただけるように、背中を押せるような曲をぜひ、4ステージの中のバランスだと思います。こういうことに取り組んでこんなすばらしい曲を、というのも大事だと思いますが、こんな楽しい曲もある、あつ、この曲知っているというのをぜひバランスの中で選曲していただきたい、と思います。

[Eグループ]

私たちのグループでは、理事の方たちがいろいろとよく考えて運営していただいているので、とりたてて要望というのはなかったんですけども、自分たちの合唱団の話を出し合って良き親睦会のようなになりました。その中で、ちょっとだけいわせていただくと、例えば、自分たちの団で演奏会を開いたりするとき、いつも手慣れている合唱団とかはいいんですけども、そうでないところは、例えばホールを借りるとか、当日のホールだけではなくで、練習にちょっとリハーサル的なホールがほしいとか、それからチラシとかそういうのをどうしたらいいんだろう、とかわからないことがあるので、そういう時に連盟のほうに連絡して、こういうときはどうしたらいいんだろうか、という情報を提供していただけるような窓口があれば、とってもありがたい、という話がありました。

もうひとつは、演奏会のときに集客に大変なエネルギーが必要だが、ひとつの方法として、お客さんにアンケートを配って、よろしければ、ということでアンケートの一番下に住所とお名前を書いていただいて、次回の演奏会のご案内をさせていただく、というのが集客には役に立つというお話がありました。

それから、大阪府、堺市ともに演奏会はひっきりなしに行われているが、どうしても、ブッキングといえますか、日が重なってしまうことがあるので、せめて堺市だけでも演奏会の日が重ならないような方法とか、事前に話し合うとか、ということができたらいいね、という話ができました。

ジョイントコンサートについては、いろいろな面でとてもいいので、これからも是非続けてほしいということでまとまりました。

[F グループ]

合唱連盟にのぞむことですが、新しいイベントの提案として、大きく二つあります。

今、小学校、中学校、高等学校で、合唱祭があるのですが、それに合わせて、連盟から講師の先生を、清原先生とか、そうそうたるメンバーの先生方に依頼して、連盟として講師を送るのはどうかという案ができました。講師の先生がいらして、実際に歌う合唱団としては、「かえで」さんなど年齢が子供たちの年齢に近い団体から派遣、身近に感じていただくという意味なんですが、先輩方の団も大歓迎なんですが、子供にピンとくるようにという視点で、また先輩方の団は、平日はお仕事の皆さんが多かったりする問題点があったりするので、一例ですけれども「かえで」さんのお名前を出させていただきました。その中で、中島先生からのエピソードで、学校勤務の頃のお話ですが、「静かなクラスよりもやんちゃなクラスのほうが、合唱を通じてリーダーシップをとる子がいてよくまとまっている」というお話をいただきました。

二番目ですが、イベントの企画として、一般の方向けに、例えば大仙公園ですとか、いろんな方が集まる公共の場所で、合唱講習のイベントをしてはどうかという意見ができました。その方法として、すぐ歌える、即興で歌えるような曲を配布しておくとか、練習場所も大変ですので、キーボードなどで軽い移動ですむように工夫したりとか、そういった意見ができました。

それと、中島先生から、「1日合唱の日」というのを設定されたご経験があるということで、例えばクリスマス前ならば、クリスマスに関連した曲などをその日にされたそうです。そういう日をつくるのはどうか、という案も出ました。

で、これら2本の柱に関わってくるのですが、例えばイベントをするときに決まった合唱団が出るのであれば、やはり集まる人数の加減ですとか、皆さんの時間の調整が難しいところがあると思うので、これらのイベント用にイレギュラーに、どの団からも集まっていただいて、1日合唱団というのを、イレギュラーに集めてその中で活動していく、というのはどうかと、そのほうが皆さんのご負担は少ないのではないか、というお話が出ました。

で高齢と定着についてですが、これはもう順番だから仕方がない、という意見に終始しまして、中島先生より、年齢にこだわらず元気にいきましょう、という力強いお言葉をいただきました。合わせて、高齢者だから甘い練習をするだとか、ここまでのレベルで、とか

ではなくて、細かく厳しく頑張っていきましょう、という言葉いただきました。そのほかに平日の昼の練習だと若年層が集まりにくい、逆に夜遅い練習であると若年層は来るが、高齢者が集まりにくい、という話になりました。

合唱団の団員確保についてのアイデアですが、どの団もされていると思いますが、団員募集のチラシなどを作ってポスティングをすとか、公民館の掲示板に普段の活動の写真でもいいので引き伸ばしてポスターのようにして貼り付けるのはどうか、というお話がありました。これらの方法として、今 CM でやっているプリントパックなどを利用するとすごく安いので利用すればよい、という話ができました。

ジョイントコンサート第2回、第3回以降に対する意見ですが、特に小人数の団が大変なので、そういった小人数の団どうしが一つの団として参加するのはどうかという意見が出ました。ただ問題点としては、2つの団で同じ先生が教えている場合でも若干団のカラーが違ったり選曲のカラーが違ったりで少し難しい点がある、という話もありました。

運営面ですが、パソコンをなかなか自在に使える人間がいないとか、お家の事情で介護ですとか、そういった個々の事情があって、運営面を全て引き受けてくれるメンバーが不足するのも問題点だという話ができました。